

26年度地方局予算の概要

【TOYOものづくり産業支援事業 2,400千円（21～26年度）】〔継続〕

生産工程の改善、新製品の開発や新市場の開拓、新たな受注先の開拓などに積極的にチャレンジしようとする企業や経営者を支援し、ものづくりを基軸とした足腰の強い産業基盤の形成を図る。

- 1 ものづくり生産現場診断・指導事業（産業支援機関に委託）
大手企業OB等でチームを組んで、生産現場に特化した診断を行い、ロスを減らし利益を確保できる経営体質となるよう指導を行う。
- 2 次代を担うコア企業経営者育成事業（産業支援機関に委託）
次代を担う若手経営者を育成するとともに、その成果発表会などを通じて、やる気のある経営者の輪を東予地域全体に広げる。
- 3 TOYO産業ネットワーク（T-NET）会議の開催
産業支援機関など、ものづくり産業に関わる各種機関等が一堂に会して、それぞれの地域や機関が抱える諸課題について協議・情報交換を行うほか、上記事業の成果を地域全体に波及させる。



【東予地域農業チーム力発揮事業費 1,050千円（26～28年度）】〔新規〕

東予地域における人や農地に関する課題を解決し、地域農業の振興を図るため、県・市・JAがチーム力を発揮し、独自の連携事業を実施する。

- 1 事業主体 周桑地域農業チーム力発揮推進協議会(仮称)
(構成員：県、西条市、西条市農業委員会、JA周桑、JA東予園芸)
- 2 事業内容
 - (1) 担い手の確保・育成対策（企業退職者等の就農支援）
企業退職者等の就農支援を行うほか、新規就農者のセミナーや農業機械のオペレーターを養成し、即戦力となる担い手の確保・育成に取り組む。
 - (2) 地域・集落の振興対策(集落営農組織の経営基盤強化支援)
道前平野の国営ほ場整備事業の導入や、国施策の転換に対応した、集落営農組織の経営・農地・人材などの将来ビジョンの策定支援や地域農業をけん引するトップリーダーを育成する。
 - (3) 農家支援の充実対策(農業経営のIT化推進)
県・市・JAの技術、経営、市況、気象等の情報を一元化し、農業者への情報発信や農業者からの相談に対応できる双方向情報システムを検討する。



26年度地方局予算の概要

【たまみ産地化推進事業費 546千円（25～27年度）】〔継続〕

しまなみ地域で栽培が始められている「たまみ」は、2月に販売できる温州みかんタイプの中晩柑として期待されている品種であるため、生産技術等の実証と販売方針等の検討を行い、しまなみ地域全体への普及を図るとともに、多様な品種のかんきつを有する産地として活性化を図る。

- 1 産地化対策検討会等の開催
生産技術や直販等の販売戦略等を検討し、産地化に向けての意識の統一を図る。
 - (1) 産地化対策検討会
 - (2) 販売戦略検討会
- 2 生産技術の実証
栽培技術の確立を図るための現地実証を3年間実施し、農家へ技術を普及する。
 - (1) 安定生産技術対策
 - (2) 果皮障害、褪色、防鳥対策
 - (3) 収穫後の品質保持対策



【かき新品種太天産地化推進事業費 667千円（25～26年度）】〔継続〕

かき新品種「太天」は、極めて大果で食味が良く、高価格販売が期待できる。現在、周桑地域の一部で産地化が始まったところであるが、生産技術等の実用化や販売戦略の確立が強く望まれているため、地域に適した生産・流通技術等を確立し、ブランド化を図るとともに、東予地域のかき産業の活性化を図る。

- 1 産地化対策検討会等の開催
生産技術や販売方法等を検討し、地域全体での産地化に向けて意識統一を図る。
 - (1) 産地化対策検討会
 - (2) 販売戦略検討会
- 2 高品質維持の生産流通技術の実証
栽培技術や脱渋技術を2年間で確立し、栽培技術マニュアルを作成するとともに、集出荷体制の整備や出荷期間の延長方法を検討し、有利販売を目指す。
 - (1) 高品質果実生産技術の実証圃を設置
 - (2) 高品質生産技術のマニュアル化（H26）
 - (3) 効率的脱渋技術の改良
 - (4) 年末商品とするための鮮度保持技術の開発



26年度地方局予算の概要

【しまなみサイクリング誘客促進事業費 2,660千円（26～28年度）】〔新規〕

しまなみ地域のサイクリング振興による交流人口の拡大を地元への経済効果の発現に結び付けるため、滞在型のサイクリング・ツーリズムの具体化や質の高いサイクリングガイドの確保・育成、フェイスブックでの情報発信を通じての更なるサイクリストの誘客を促進する。

- 1 しまなみ滞在型サイクリング拡大事業
地元企業・団体からしまなみサイクリングを核とした国内外のツアー企画、企業研修、修学旅行など誘客効果の高いツアーモデルを企画提案募集し、旅行会社とのマッチングを行った上で、ツアー商品を造成する。
- 2 しまなみサイクリングブラッシュアップ事業
 - (1) しまなみサイクリング・インストラクター育成
しまなみサイクリングに特化したインストラクター講習会を開催。サイクリングに関する高度な技術・知識を習得し、しまなみ地域の地理・自然・文化に精通したサイクリング・インストラクターを育成する。
 - (2) フェイスブックによる情報発信[H25～]
FB「しまなみサイクリングパラダイス」を誘客促進ツールとして活用し、しまなみ海道の魅力を発信。サイクリストのリピーター化や新たなしまなみファンを獲得し、サイクリング人口の拡大を図る。



【東予の誇れる産業遺産活用促進事業費 4,924千円（26～28年度）】〔新規〕

東予地域4市1町に点在している別子銅山関連遺産群をはじめとする産業遺産（第一次、第二次、第三次産業等）について、市町、企業、NPO等と連携しながら、かけがえのない文化的資源として地域に根付かせ、郷土文化に対するアイデンティティの醸成を図るとともに、まちづくりや観光振興、交流人口の拡大を図る。

- 1 「東予の誇れる産業遺産（たから）」保存・活用協議会等の開催
別子銅山関連遺産群をはじめとする産業遺産について、管内市町等と連携し、地域活性化資源として保存及び活用方策等を協議。
- 2 「東予の誇れる産業遺産（たから）」のデータベース化
東予管内に点在する産業遺産（第一次、第二次、第三次産業等）について、活用可能性の観点から調査し、データベース化するとともに、産業遺産の活用方策について、産業遺産活用実施計画を作成。
- 3 「東予の誇れる産業遺産（たから）」魅力発信強化事業
 - (1) しまのわ2014観光客へのヘリテージツーリズム魅力発信強化事業
 - (2) 「東予の誇れる産業遺産（たから）」魅力発信in東京
 - (3) 別子銅山から紐解く東予管内地域交流巡回パネル展
- 4 産業遺産Jrマイスター養成事業(東予地区高校生等対象)
高校生の修学旅行案内や、小・中学校の出前講座での講師等を養成。
- 5 ものづくり産業遺産体験学習事業〈サマ・キャブ〉(東予地区中学生等対象)【ゼロ予算】



26年度地方局予算の概要

【東予まるごと山の魅力ブランド化事業費 2,516千円（26～28年度）】〔新規〕

東予地方には魅力的な山々があるが、観光誘客に関しては未だ発展途上にあることから、関係市町等と連携し、東予地方の山岳をまるごと、魅力的な観光資源としてブランド化の推進に努め、観光振興はもとより、総合的に地域の活性化を図る。

- 1 山の魅力でおもてなしチームの設置
関係市町・団体等で構成するチームを地方局に設置し、市町の枠を越えた広域連携体制の構築を図る。
 - (1) ワークショップの開催
 - (2) フェイスブックの開設
- 2 東予まるごと山の魅力ブランド化の推進
着地情報の充実や発信力の強化に取り組み、東予地方の山岳をまるごと魅力的な観光資源としてブランド化を推進することにより、入込客増大を図る。
 - (1) 山の魅力に関する地域資源の調査・発掘・見直し
 - (2) 東予の山を楽しむ総合Webサイトの開設・運営
 - (3) 新たな山岳観光モデルコース等の開発
- 3 東予に連なる山のファンの創出
登山未経験者・初心者を対象に、東予の山の魅力をまるごと体感できる入門講座の開設に取り組み、東予の山のファンの創出を図る。
 - (1) TOYO山の魅力入門講座の開設

